

2022年6月2日

各位

日軽新潟株式会社

### 新幹線 から 新幹線

#### 「車両構体から車両構体へのアルミ水平リサイクル※1」について

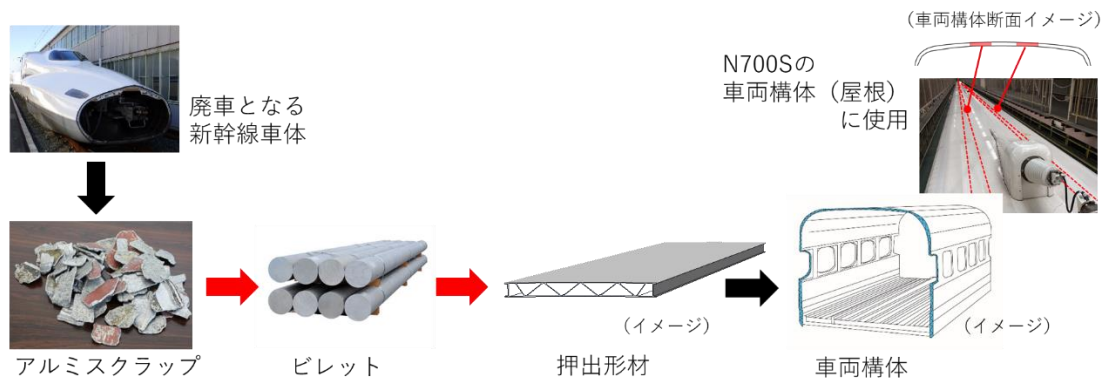
日軽新潟株式会社（代表取締役社長：小池洋光）は、日軽金アクト株式会社（代表取締役社長：伊藤嘉昭）の製造拠点として、東海旅客鉄道株式会社（以下：JR 東海）などと共同で、廃棄される新幹線車両の車両構体を新規に製造される車両の車両構体の一部に循環利用する「車両構体から車両構体へのアルミ水平リサイクル」に取り組み、今回実現可能となりましたことをお知らせいたします。

#### ◆概要

JR 東海の東海道新幹線 N700S には、廃車となる新幹線車両の車体に使用されているアルミスクラップが水平リサイクルされ、これまでは内装部品の一部のみに循環利用されてきました。

新幹線車両の車両構体材を製造している日軽新潟は、今回、日軽金アクト及び日本軽金属グループの知見を活かし、JR 東海、日本車輛製造株式会社、株式会社日立製作所、ジェイアール東海商事株式会社との取組みで、より一層の信頼性・品質の確保が求められる強度部材の『車両構体材』への循環利用を技術的に可能にしました。

これにより、廃車となる新幹線車両の「車両構体から車両構体へのアルミ水平リサイクル」が可能となり、JR 東海において、2023 年度より順次追加投入される新幹線 N700S2 次車の車両構体（屋根）の一部から採用される予定です。なお、この取組みで CO<sub>2</sub> 排出量を新幹線 1 編成あたり約 50 トン削減します。

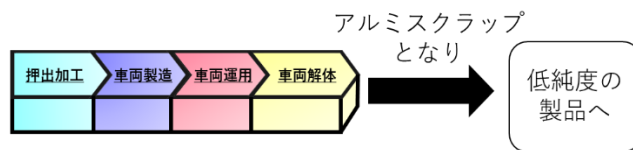


(情報提供：東海旅客鉄道株式会社)

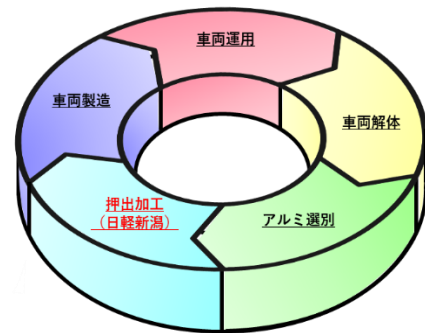
◆車両構体から車両構体へのアルミ水平リサイクル

従来、新幹線車両の車両構体のアルミスクラップはカスケードリサイクル※2 されていました。  
今回確立されたアルミ水平リサイクルは、新幹線車両の車両構体から解体分別されたアルミスクラップを、日本軽金属グループにて溶解・鋳造し、日軽新潟にて、再び N700S 新幹線車両の車両構体材に押出加工します。

これまでの車両構体材



今回のアルミ水平リサイクルイメージ



(情報提供：東海旅客鉄道株式会社)

日軽新潟は、日軽金アクトとともに、新幹線のアルミ水平リサイクルにおいて、適用範囲の拡大や資源の更なる効率的な利用、CO<sub>2</sub> 排出量のより一層の削減を目指してまいります。今後も日本軽金属グループの強みを活かし、人々の暮らしの向上と地球環境の保護に貢献していきます。

※1：水平リサイクル

同一純度や同一組成の合金に還流させ、純度や合金組成を維持するリサイクル。劣化を抑えるために、厳密な選別・調整が必要。

※2：カスケードリサイクル

不純物量の多い低純度材へダウングレードするリサイクル。性質の劣化・変化を伴うため元の素材に戻ることはないが、素材として再利用する。

以上

本件に関するお問い合わせ

日本軽金属ホールディングス株式会社 企画統括室 広報・IR 担当 TEL：03-6810-7160